



口之津港ターミナル 朝日に照らされ出航する島鉄フェリー

肥前口之津港に宣教師ヴァリニャーノが上陸したのは一五七九年である。その時から口之津はポルトガルとの交易、輝かしいデビューである。この時、この街では少年・少女の聖歌隊が組織され、美しい讃美歌が港界隈に流れていた



船出！ほかにわ丸

理事長 志賀俊紀

発行所：ほかにわ共和国
発行責任者：志賀俊紀
編集責任者：ほかにわ広報部



たという史実がある。一五八二年六月二十一日、京都本能寺において明智光秀の謀反、織田信長が自刃し、その知らせは、口之津港から同年十月三十日の船で発信されたのである。
今から約四百四十年前、まさに国際の舞台を演じていたのである。
本年三月二十日、港ターミナルビルが完成した。近代的でポルトガルに夢をかける「白亜の館」である。庭園には、ポルトガルから贈られてきたヴァリニャーノの記念像がある。キリスト教の伝来で、ザビエルは有名であるが、筆者は、布教活動において彼を凌ぐ人物はいないが、医療で有名なアルメイダも口之津には所縁のある人物である。さて我々も、ヴァリニャーノに面会してきた。尚、このターミナルには、ほかにわ共和国のスペースがあり、土産品など所狭しと陳列販売されている。是非ご来店の上、商売繁盛にご協力ください。



口之津港ターミナル売店 「はあとふる」

新たなスタートに立つ

令和2年度、辞令交付式が4月1日に執り行われた。志賀理事長の訓示では、「法人設立から20年余り経とうとしている。新たな船出とし、職員自身も自己研鑽に励み、よりよい支援の提供ができるよう努力が必要である」と話があった。

そして、新たに新規職員1名を迎え、新任職員の松島由羽さんが誓いの言葉として「一日でも早く戦力になれるよう努力し、初心の決意を忘れることなく、一生懸命励んでいきます」と抱負を述べた。

法人に新しい風が吹き込み、職員一同身を引き締め、新たなスタートを迎えた。



これからを見据えて

毎年1月5日は、ほかにわ共和国新年研修会が開催される。今回の研修では各事業所で行ってきた課題について対策を立て、3ヶ年計画で進めていくこととなった。

ワークネットやはたは、工賃、就労、サービスの3つに分け「希望に沿った就労支援と職業能力向上の実現のために」～魅力ある施設づくり～として、テーマを掲げた。

工賃の分野では、平均工賃3万円の実現と維持の為に、仕事量の確保や、作業種目の見直しも視野に活動する。

就労の分野では、就職を進める為に、関係機関と連携を強化する。

サービスの分野では、利用者会議を新たに取り入れ、活動中の役割分担やニーズを一緒に考える。「豊さ」の実現の為に追求していきたいと思う。



作業合間の休憩時にトランプが流行ってます

ワークネットやはた 松尾 浩道

「家族の思い」

やはりた共育大学を経て、一般社団法人オリーブに就職が決まり、「ほっとしている反面、不安と心配もあります。四年間学んだことを活かして、自分が選んだ道をしっかりと歩んでほしいと思います。私も精一杯応援しています。

これからいろんな悩みやきついこと楽しいことがあるかと思いますが、新しい職場を一つの修行の場と捉え成長してほしいです。これからが本番です。自分に負けず、今自分が持っている力を最大に発揮して頑張ってください。

四年間お世話になりました。

植木達也の母より

特集

ほかにわ共和国には専門部が四部ある。それは、研修部、QC推進部、地域活性部そして広報部である。これからの部活動について、各部長に過去・現在の活動実績を聴くことにした。今回は広報活動について部長に語ってもらった。

広報誌のルーツ「今に至る」

私の八幡会入社は平成十二年、その当時すでに広報誌が各施設で作られていた。そこで、広報紙の始まりを志賀理事長へ尋ねてみた。

志賀理事長曰く、私の新聞作りは高校時代にさかのぼり、当時親友の三人で作ったのが原点。そして、施設内での新聞第一号は、一九六七年八幡会時代、昭和四十二年あかつき通信(りんご新聞)ガリ版印刷二面で発行した、とのこと。

広報紙第一号は、昭和四十五年



八雲寮玄関前の満開の桜

八雲寮にて発行となるが、当時の施設職員は新聞作りの経験やノウハウもなく出来る職員がいなかったと聞

く、八雲寮で新聞作りを始め担当が転勤となったことで、各施設も徐々に新聞作りが出来るようになってきた。その当時の新聞は、日常生活や作業風景行事などを写真に撮り利用者の姿をご父兄に伝える寮内新聞からであった。

当時の写真と言えばインスタントカメラを使い、枚数も限られたコマ中で利用者の活動する様子を一回切りで良い写真を撮らなければならなかった。撮影する職員も一枚の写真取りにも真剣みがあり、動きのある良い写真が撮れていた。

今ではデジタルカメラやビデオカメラ、スマートフォン等の普及から写真は多く残せるようになってきたものの、撮影する職員に真剣みが薄れてきている。

便利な世の中になったことで、写真に対する思いが欠如している。

たかが新聞づくり一九六七年から新聞を発刊、されど五十三年の歴史がある。八幡会から分離独立、ほかにわ共和国となって今年で十五年



猫の積木

デイ雲柿の木レインボー班で作成している、木工で作った積木です。ずばりタイトルは『猫の仲間たち』積み上げるタイプの積木ですが、すべて積み上げることができると何



広報誌編集会議の様子



「ほかにわ」創刊号から十号まで

ほかにわ広報紙も五十年、五十六号を迎える。新たな元号令和の時代となり、今何を発信し人は何に興味を示すのか、魅力ある新聞、読みたい施設の新聞とは何かと考察して見ると、まずはまた読みたいと思える新聞、ご家族への発信、広報紙を通じて地域社会へ解りやすく正確に伝えなければならぬ。しかし、毎年四年間継続して発行することとは容易ではない。すなわち法人の理解と職員の力量が必要となる。そして新聞記事は良いことばかりの羅列では面白くない。エピソードの中にも失敗談なども、読む側の共感をよび作る側の反省が生まれる。つまり魅力ある新聞作りの方向性である。

広報部 部長 中村 久人

かいいことが…♪
ちなみに“お船バージョン”もありますよ♪
ぜひ一度、お手にとどうぞ!



近藤理事の訓示に「人柄を持つ」、つまり「この人が言うなら信じよう」「この人がやるならついていこう」と思われる人材になってください」とあった。誰からも信頼される職員を目指し、職務に励もうと意を決する。

志賀理事長のほかにわないオンラインの言葉「船出・ほかにわ丸」、この混沌とした年度始めに出航、ぶれずに冷静な舵取りを!

(井上)

令和二年度始まる

今年には新型コロナウイルス感染予防対策から辞令交付式では参加人数が縮小されたが、誓いの言葉を述べる新任職員・松島由羽さんの姿はこの困難な時期を忘れさせ、職員一人ひとりがこの一年をどう取り組むか考えさせてくれた。厳しい一年となりそうだが、こういう状況こそ求められる職員の団結力を今こそ発揮しようではないか。



ほかにわ共和国の動き

- 5月末 監事監査理事会
- 6月中旬 評議委員会
- 7月1日 物故者法要

myブーム myコレクション

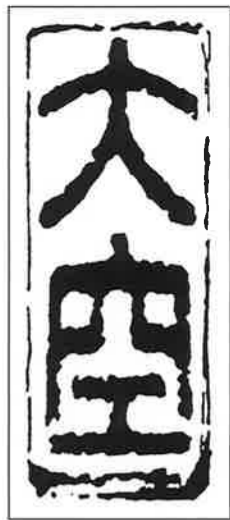
最近、焼き鳥に凝っています。肉の種類は鶏身・ハツ・砂ずり・豚バラ・牛タン・牛ハラミと色々やタマネギと一緒に串に打って焼いています。以前は、電気焼き鳥機で焼いていましたが、焼き上がりが遅く焼きあがった頃には肉の水分がなくなつた感じが強くでていました。

すると、最近カセットコンロ風の焼き鳥機を見つけたではありませんか!!



すぐさま購入し、さっそく焼いてみる事に…炭で焼く焼き鳥には到底敵いませんが、焼き上がり早いのもありジュシーな焼き鳥に仕上がりました。機器に興味がある方は、ナフコに売ってます(笑) 家族・友達と仕込みから調理まで、一緒にやってみよう♪

八雲寮 中村 要平



障害者支援施設 八雲寮広報部

自治会役員選挙

今年もやってきました！八雲寮自治会役員選挙。「自治会長、副会長、書記、会計」と定員四名に対して八雲寮をより良くする為に我こそはと令和二年度の自治会役員選挙には立候補者、七名が名乗りを挙げました。演説では各々タスキを掛け、頭にはハチマキと格好から気合充分でどんな八雲寮にしたいのか熱いスピーチを繰り広げました。皆、真剣な顔で演説を行う為、演説を聞いている寮生もいつも以上に真剣な様子が伺えました。

スピーチ後はどの人に会長になってもらいたいのか、一人ずつ投票箱に投票。

前自治会役員立ち合いのもと開票を行い、



5月行事
菖蒲湯 5日
施設内活動
(連休中)
小グループ活動



会長 高倉淳雄さん

令和二年度の八雲寮自治会会長は「きれいな八雲寮を目指します！」と熱く語った高倉淳雄さんに決定しました。寡黙で、仕事熱心な高倉さんですが、自治会長として頑張ってもらえたらと思います。私たち職員も高倉さんのサポートをしていきます。(吉田)

令和二年度グループホームの活動における意気込み

昨年度の千代垣荘の外出は、ホーム外出四回、未帰省者外出一回の計五回の外出を行う事ができました。利用者の方々も外出はととても大好きで「何処に出掛けたいか」と、一緒に考えながら外出先を決めています。グループ別で外出したり、季節を感じられるものを取り入れたり、満足してもらえよう工夫しながら行っています。

今年度も同様に外出を取り入れていきながら、利用者の方々が満足できるようにサービス提供をしていきたいです。また、外出だけでなく、日々の生活の中でも楽しみを一緒に見つけて暮らしていけるように休日小さなイベントを取り入れたら、一日一日を充実させていきたいと思っています。(汐里)



作業班活動～工芸班～

年度末に一年間の労を労うために、班別活動を行いました。出掛けている途中、町田さんが新しい建物を見て興味深々でした。新しい口之津港だと職員が教えると「行って見たかねえ」と車内で盛り上がり、帰りに立ち寄ることにしました。

昼食は、加津佐町で有名な中華料理店「華豊」で出前を取り東望で和気あいあいと、食事を楽しみました。食後には、車内で話題になった場所へと移動し、外観を眺め記念撮影を行いました。

利用者の皆さんは新しい建物には敏感に反応されます。特に工芸班は施設内の活動が多いため、外出する機会が少ないのが現状です。今年度こそは、昨年以上に外出する機会を増やし、皆さんに喜ばれる活動を取り入れようと強く思いました。(宮原)



New face



新入
森塚統さん

ワークで作業を頑張りたいです！！

～職員紹介～



福田義郎さん



松島由羽さん

じゃがいも雑感！

年号も変わり、あつという間の一年間を過ごし、令和二年度が始まりました。

今年度は、東京オリンピックの年。昭和の東京オリンピックの年に生まれた私は、特別な年になるかと思いきや、一年程度の延期と決定し、世間はウイルス感染拡大予防の為、何をすることも自粛・萎縮されています。その中で、生活する私たちは工夫をしながら「あたりまえ」の生活を送れるように、創設以来受け継がれている、伝統やサービスの提供を大切に、新しい知識や技術を取り入れながら、この一年は、"やぐも"らしさで盛り上げていきます。(井村)

がんばらんば宣言

毎号掲載しているがんばらんば宣言。今回紹介するのは...



牧山洋平さん 平成18年4月入所

笑顔で活動がんばります！！

ほかにわ

4月号 No.197



第15回デイ雲活動発表会

一年間の活動の成果を発表する場である「デイ雲活動発表会」が二月二十二日に神惟記念館で行われました。

今年度も口加高校にサポーターの協力をして頂き、当日八名の生徒さんが参加されました。

ヘルマンハーブ、フラダンスなど日々の文化活動の中で練習してきた成果を見せることができました。今年度のオペレッタ「てぶくろ」は全員参加ではなく希望された方に出演をしてもらいました。また、放課後等デイの児童の皆さんは平日利用日のちよつとした時間で練習した



出演希望者によるオペレッタ「てぶくろ」



ハンドベルとヘルマンハーブ

ハンドベルを上手に演奏することができました。

他に法人内の事業所から八雲寮・ワークネットやはた・デイ雲柿の木の皆さんが歌やダンスで、また、口之津中学校吹奏楽部の出演も頂き演歌メドレーなどで、会場が盛り上がりまりました。

今回も保護者の方々や法人内職員の来場・協力を頂くことで無事発表会を終えることができました。

現在デイ雲では、利用者の方々の高齢化も進んでおり、職員一同出来ることを模索しながら次年度の発表会の演目を考え、一人ひとりが「主役」になれるよう計画を立てていきたいと思えます。
(福田)

福田・森ホーム

口之津の「しらはまびーちホテル」で温泉浴をしてくつろいだあと、レストラン「波美音」で食事を楽しみました。午後は東望でカラオケやトランプゲームをして楽しい時間を過ごしました。



三月ホーム外出

三月下旬、一年間の締めくくりとしてホームごとに外出行事を行いました。

生川・光長ホーム



「ニュー小浜」へトルコライスを食べに行きました。皆、とてもおいしかったと大満足。東望でホットケーキを作り一年間の締めくくりができました。

岩永ホーム

外出は避けて…“そうだ!!東望で焼肉を食べよう”と行ってきました。買い物もみんなで行き、お店の見学もばっちりしてきましたよ。

「やっぱりお肉は多めに買わにゃんね」という事で沢山お肉を買いました。皆さんで美味しく頂きました。いつもより食が進みおかわりもして大満足でした。



山本ホーム(放デイ)

例年、外出を行っていましたが、今回は事業所内でお買い物訓練をしました。前日からお金の確認をして「何が買えると」「おやつはいくつ買える?」と質問攻めでした。当日は「今日は何時からお店やさんする?」



とわくわくされていました。児童さんが興味ありそうな文具やおやつを揃えて、お財布にお金を準備して、さあ体験。財布を片手に、並んだ商品をじーっと見つめて品定めを行い、満面の笑みでお買い物。買ったお菓子で仲良くおやつタイム。外出とはまた違った思い出作りが出来たようでした。



二月から看護師として働かれています。簡単に、自己紹介を。村上加おる、福岡県出身です。

ほかにわで働こうと思っ
たきっかけは?
障害者施設の勤務経験がなく、スキルアップになると思いました。

働き始めてからの感想と抱負は?
今まで接してきた病院の患者さんとは介助の仕方が違うので色々戸惑う所はありますが、一日も早く仕事を覚えて頑張りますので、よろしくお願いします。



いします。
(生川)

雲と虹

5月行事予定

- ・日帰り旅行
- ・レクリエーション大会
- ・手作りおやつ

年号が「令和」になり早くも二年目になります。今年の話題は世界中で2020東京オリンピック・パラリンピックになるはずでした。しかし現状は世界中で新型コロナウイルスのニュースばかりが流れています。オリンピックも延期になりコンサート等イベントも自粛、ヨーロッパでは日用品を買いに外出するのも許可が厳戒態勢です。日本では、政府が学校に休校要請を出し医療・介護・障害者福祉施設には地域で適切に対応するよう求めています。私達事業所でも通常の倍の児童の利用があり、保護者の要望に出来るべく通常活動を変更してでも安全に事故の無いよう受入をしています。沈静化するまで地域と福祉が協力して乗り越えていきたいものです。
(生川)



共同生活援助事業所
(介護サービス包括型)
悠炉里広報誌



4月号

私たちに出来る最期の支援とは

悠炉里 施設長 志賀常盤

児童から高齢者まで、幅広い年齢層の利用者支援を行っているが、法人創設当初から比べると、全体的に六〇歳を超える利用者が半数近く存在する。令和元年度を振り返ると、急逝や病状の進行が原因で一年間に三名の利用者が天国へ旅立った。そこで、私たちに求められる最期の支援を振り返りたい。

まず、高齢に伴い病気にて再入院や長期入院など様々であるが、生命が危険な状態と連絡が入り次第ご家族等に連絡し、まとまった金額の払い出し許可を伺い準備している。それには以前のケースで、

まず、高齢に伴い病気にて再入院や長期入院など様々であるが、生命が危険な状態と連絡が入り次第ご家族等に連絡し、まとまった金額の払い出し許可を伺い準備している。それには以前のケースで、笑顔で幸せを願う全員で見送ることが、私たちにあって感謝を込めた利用者支援であると思うのである。



「家族」との別れを惜しむ遺族たち



今後の行事予定

- ・入居許可式
- ・GW帰省
- ・未帰省者活動
- ・小G活動



仲間と美味しいお寿司♪

ユニット活動

一年間の締めとして、毎年ユニットごとに活動をし、一年を振り返ります。今年はホーム別に食事をしてこれまでの思い出を語り合いました。ホームを移る仲間とのお別れもあり、感慨深いものとなりました。また新しい年度もホームの仲間と仲良く過ごしましょう！

NEW FACE ニューフェイス



松尾一則さん



山岡洋一さん

4月から悠炉里・瑞垣荘で生活しています。まだ自分の事だけでいっぱいですが、これから仕事も生活も頑張ります！

スポットライト



今年で喜寿を迎えた田口澄雄さん。元気で明るく、人と接することがとても大好きです。喜寿を迎えましたが、いくつになっても一途な想いを相手に伝え続けてくれることでしょう。

これからも杜垣荘で楽しく生活し、沢山の人の温かい想いを伝え続けてください！！

☆新しい悠炉里です☆



古賀 清美さん

ワークから異動となりました古賀です。よろしくお祈りします！

祝！年祝い

10名の方が年祝いを迎えられました！おめでとうございます！



いゆるりとい

今回は利用者支援について考えてみる。

利用者支援において、「その人としっかり向き合い、受け入れること」この基本をしっかり押さえていても利用者の強い拘りやパニック、利用者同士のトラブルに頭を抱えてしまう事も少なくない。

しっかり向き合って、きちんと話せば通じるだろうという思い込みは、よく打ち砕かれたように思う。また問われる事、考えさせられる事、教えられる事の連続であるが、それは決して良くない状態ではなく、人と人が共に生きていく上で重要な事のように思える。

そういう意味でも、今の状況を前向きに受け止め利用者としっかり向き合っていく事が出来ればと思う。

(大島)

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 4月号

新たなステップへ

三月二十七日、やはた共育大学から、三名の利用者が卒業を迎えました。

授与式では一人一人が所長より卒業証書を授与され、式辞では「ここで学んだことを活かし、新しい場所で自分のやるべき事を見つけ、そして、社会人としての自覚をしっかりと持ってほしい。」と、門出を祝う言葉を送りました。

卒業生代表の植木達也さんは「学んだことを活かし、自分に負けず、新しい仲間をみつけ頑張っていきたいと思います。」と決意を力強く述べました。



↑ 卒業式での記念撮影

園芸班のお仕事

園芸班では、町内外の農家へ出向き作業の手伝いに精を出しています。3月は玉葱の収穫作業に毎日出ています。

一日の作業終了時には、農家の方々に「ありがとう」と言ってもらい、嬉しそうに「また来ます」と元気に挨拶を交わしています。

玉葱が終わると、次は馬鈴薯の収穫が待っていますので、これからも地域の農家の方々の助けになれるよう頑張っていきます。

(宮田)



農家さんの畑で玉葱の収穫中



権田公園にて毎年恒例の花見に出掛けてきました。天候は、あいにくの曇りでしたが、利用者みなさんは、桜よりも食事を夢中で食べていたので、「桜もたまには見てね」と声掛けする場面もあり、笑いが飛び交っていました。

食後は体を動かしたり、会話を楽しんでいたり、日頃の作業の疲れを癒しているようでした。今年度も頑張ってください。

(松尾)

(白石)

花よりの園子

ワークネットやはた この人！！

名前 木場田 巖さん

Q) 趣味は何ですか？

「DVD鑑賞です」

Q) 好きな食べ物は？

「焼きそばが好きです」

Q) 休日は何をしていますか？

「買い物に行って好きな物を買っています」

●昨年の12月よりワークネットやはたを利用されています。園芸班の即戦力として頑張っています。



一年間の疲れ癒えました



新しくなった口之津港での写真

散歩道

少し前に、嘔吐下痢にかかり、一日中トイレに閉じこもるはめになった。悲惨な状態だった...どうやら生ものにあたってたようである。

食事に生ものが出ると少し恐怖を感じるが、やはり手が出てしまう。

世界中でコロナウイルスが流行しています。手洗い、うがいの予防も大切ですが、生活習慣を見直し、ウイルスに負けない免疫力を付けることが大切だと思います。

これを機に、自分自身の体を振り返り、あの頃の体型に戻れるよう頑張っている途中で... (松尾)

お土産屋「はあとふる」オープン

口之津港ターミナルビルに売店をオープンしました。

みなさんぜひ遊びに来てください。

皆様のお越しを心からお待ちしています

しほはしほ

愛と感謝をこめて

平成二十一年一月にデイ雲サテライトとして有家町蒲河に就労継続支援B型「デイ雲」を開所しました。

そして、翌年二十二年四月に「デイ雲柿の木」が独立して十年が経ちました。

初年度より十年間、当事業所を利用して頂き、活躍されている皆さんに、法人理事長名の感謝状と記念品を贈呈しました。

これを機に、「感謝規程」を定め、永年にわたって、



感謝状は、理事長よりみんなの前で渡されました

スタンプラリー選手権

新型コロナウイルス感染拡大防止策として、多くの公私立・特別支援学校が休校となりました。柿の木でも放課後等デイサービス事業の平日営業時間を拡大し、児童の受け入れを開始しました。普段は学校へ行き、友達との交流や学業に励む日々を急な休校で、子供たちが柿の木に来ることになり、少しでも楽しみな時間になるよう、『スタンプラリー!』を開始しました!

一日毎に1ポイント獲得できるシートのマスは全部で30個。10個たまるとおたのしみがあります。スタンプ達成一番乗りは、松島利祈くんでした。

休校になってから、一日も休まず毎日来てくれました。利祈くんがリクエストしたキャラクターは、「ピカチュウ」でした。折り紙のピカチュウのメダルをゲットして、ハイポーズ。とても喜んでくれました。柿の木で楽しかったよ、明日も行きたいと思ってくれる工夫を考えていきます。

(恵理)



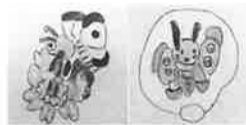
満面の笑みでハイポーズ



「デイ雲柿の木」で活躍される利用者の方々に、深く感謝の意を表しました。記念品は、理事長が書かれた「これ波これ和 デイ雲柿の木」の文字を刺繍したオリジナルタオルです。今後当事業所への更なる発展に大いに寄与される事を期待したいと思います。『これは、これは』(方言で、「ありがとう」の意味) (由)



手織りの魅力に惹かれ、毎週柿の木へさをり織りを習いに来ている方がいらつしやいます。市内在住の松尾さん。普段はピアノやお琴の先生をされています。さはりはテレビで見て興味を持ち、自分もしたいと思うようになったとのこと



「みつばち」 絵：石川智宏さん作

手織りを習いにいらつしやうい

です。色合いを自分で選べ、織る時の音がとても好きと話してくださいました。実際に体験してみると、細かい糸や細かい部品が見えにくく難しいけど、習得したら色々な作品を作ってみたいと意気込まれています。

ぜひ、興味のある方はいらつしやうい♡ (森内)

バンザイ!



大事に使います

デイ雲保護者会様より助成をいただき、木琴と楽譜スタンドを購入しました!

また一步、柿の木オーケストラに近づきました! ありがとうございます。

Coming Soon!?

弥生、三月桃の節句に『雛人形』を飾ります。陶器でできた雛人形を頂いてから、すこ〜しずつ、リサイクルショップで飾り台や屏風、お道具等を買揃え、立派な?七段飾りになりました。

雛人形は元来、それぞれの家庭に生まれた女の子の健やかな成長と幸せを願い飾られるものです。柿の木では、季節を楽しむ大きな役割を果たしています。

今年からは、端午の節句に合わせた飾りを少しずつ揃えます。男の子の成長と幸福を願い青葉の季節を楽しむお飾りが、仕上がった時は、またお知らせしま—す。



言の葉

令和二年度、新型コロナウイルスが世界を震撼とさせている嵐の海に、静かに船出したように感じたのは職員異動がなかったからかもしれない。■去年の十二月揃った職員数だが、まだまだ業務をこなせていない事が多く、指導役職員の苦勞は、今がピーク。伝える事の難しさを噛締め悩んでいる。■私はJAが発行するAPRONというフリーペーパーが好きで、特に同ジテ—マで連載する紙面を読むのが毎月楽しみです。■三月号は作家の浅田二郎氏。日本人が二千年命を繋いできたお米(ご飯)が、見た目に気をとられ、ダイエットの敵、毒のように扱われてから、日本人の顔に知性が感じられない。■哲学や議論や文学が異なるものにとって変わられ、居場所をなくしたのは大脳のエネルギー源の糖質不足で、知的飢餓に陥ったと考えられる。「スリムな馬鹿よりクレーバーなデブがずっとよい。」に賛成一票だ。(由)

5月の行事

- 誕生会・菖蒲湯 7日
- 河川アダプト 13日
- レクリエーション 23日



春の風に誘われ口之津港へ。ヴァリニャーノの前で“はい・ポーズ”新しい船出の時間がやってきた。2020/04/01

今は昔、肥前有馬領は有馬晴信の所領であった。口之津の港にはポルトガル船が入港していた。港の広場に、イタリヤから贈呈された「宣教師ヴァリニャーノ」の胸像が毅然と遙を見渡している。新しい観光スポットになった。

NHKのプラタモリの放映があった。隠れキリシタン関係の内容であったが、四少年の文化的優位性は加津佐町に上陸したグーデンベルグ式の活版印刷機と讃美歌の輸入が有名である。

フラットととき



Tosiki

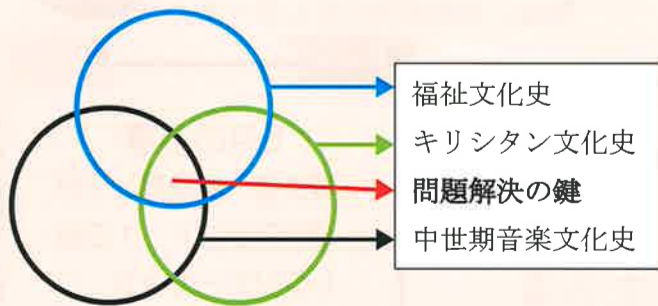
遣欧少年使節の御前演奏の楽曲は何か？

有馬のセミナリオで厳しい学問を学び、音楽の特訓を受けて、1582年2月20日長崎を船出した。キリシタンを庇護していた織田信長は明智光秀の謀反で本能寺で6月21日自害した。その知らせは10月31日の口之津発信でリスボンに知らされた。四少年は、1590年8月10日に長崎に帰ってきた。翌年の3月3日に聚楽第で、太閤秀吉の面前で御前演奏を行った。秀吉は三回も所望したと記録にある。しかも演奏した楽器はすべて明らかになっている。しかし、演奏した楽曲名がフロイスの『日本史』にもない。唯一、中世期のルネサンス音楽の権威者 M.T は、『皇帝の歌』の作曲者のヨーロッパに於ける名声の背景、この歌とスペイン・ポルトガルの王侯貴族の関係など、音楽史に基づいて楽曲を推考したが確率60%と明言した。そこで筆者(志賀)は、領域が三つ融合した型になったので、確率90%を申告したい。

筆者志賀は、キリシタン史研究者たちは、教会音楽「聖歌」の進展と影響力を考察しながら、聚楽第での御前演奏は遣欧使節の晴れの舞台として認識し、約130年前、ルターが、高く評価した「テ・デウム・ラウドムス」を世俗化していない讃美歌として貴重であると認識している。

筆者は、福祉文化史の視点で、ヴァリニャーノの布教活動の実体と、音楽環境の実体、そして、四少年が体現した訪欧の感動を検証した。そこから見てきたのは、ヴァリニャーノ等の主イエスを尊敬する願いは、太公秀吉がキリスト教弾圧の翻意を期待する願いを超越していた。

従って、四少年たちは肅々と美しい和音の演奏をしたのではなかろうか。結論として、御前演奏の楽曲は、「テ・デウム・ラウドムス」が最も相応しい曲であると考えられた。



志賀の謎解きの秘密武器である。怪しいなア？と思ったら、三つの視点から見てみると、確かな答えが出てくるかもね。この思考は福祉QCサークルにも応用できる。



防、風邪予防効果が期待されています。花粉症抑制効果、生活習慣病予防。花柳症抑制効果、生活習慣病予防。九年母を継承する会の原田建夫氏からの情報でした。尚、原田氏は郷土の歴史に詳しく、席の温まる時があります。俊紀の中学時代の野球部の先輩です。

約三百年八十年前に起きた島原半島・天草一揆の時、天草四郎が甥の小平に渡した九年母は、昔から神様の食事の一つだった。現在、日本に出回っているみかんの七割が温州みかんですが、どこにあるのかと言いますと、福岡県宗像大社、東京の浜離宮と熊本五木村にあります。そしてその薬効はどんな効き目があるのでしょうか。現在、東京大学に送って、果皮や果汁の成分を分析中です。

幻のみかん 九年母



青い目の人形の写真発見



前回の「フラットととき」で青い目の人形の逸話を掲載したところ、それに連動する新聞記事を見つけた。それによると、「1927(昭和2)年、米国から日本に贈られた青い目の人形たち。このうち島原市立第一小で保存されている「カトル・メリー」(同市文化財)などを展示する「日米親善人形交流と島原展」が、同市の島原城観光復興記念館で開かれている。青い目の人形は、日米関係の悪化を心配した米国人宣教師シドニー・ギョーリック博士の発案で日本の子どもたちに約12,700体を贈呈。しかし戦時中に敵国の人形として多くが廃棄され、現存するのは約三百体。平成三十年四月三日、西日本新聞朝刊」でした。

耳寄りな話、五月の音楽専門の雑誌「オリオン」で、志賀俊紀の音楽が流れます。作詞作曲はしがとき、編曲は調理師の草野修さんです。草野さんは元プロの演奏家で編曲者です。曲名は「長崎唐寺四福寺」です。歌手は草野さんの音大時代の同期の佐賀市在住の音楽家・市丸芳郎さんです。リクエストして下さい。